

令和2年3月16日

発 言 者	発 言 要 旨
遠藤(和)委員	<p>年度内に事業の完了が困難となった障がい福祉施設整備の事業概要と現在までの事業の進捗状況はどうか。</p> <p>また、事業が繰り越されることによる入所者への影響はどうか。</p>
障がい福祉課長	<p>この施設は、グループホームと呼ばれる施設で定員が6人、現在利用中の方は3人である。</p> <p>昨年6月に発生した山形県沖を震源とする地震により瓦屋根が一部破損し、その後災害査定を受けた。この災害査定は10月4日に受けたが、被害は屋根だけではなく、外壁の被害や雨漏りの被害も確認された。これにより国からの指示で、屋根だけでなく全体について査定をやり直すことになり、年度内の事業完了が困難となった。追加の工事も含めて全ての工事が完成するのは、4月中旬を見込んでいる。</p> <p>この施設は2階建ての施設であり、雨漏りの影響で2階は利用できないが、1階は何とか利用できるため、サービス提供を受けている状況である。</p>
小松副委員長	<p>地震の発生は6月で、災害査定は10月である。災害査定まで時間を要した要因は何か。</p>
障がい福祉課長	<p>昨年、今年と地震のほかにも台風被害等が多くあった影響で、国の業務量が増加していることが影響している。</p>
小松副委員長	<p>施設の1階の居住環境は、生活に支障のない状況か。</p>
障がい福祉課長	<p>普段利用できる2階が利用できないため、若干の不便さはあるが、生活への支障は無いと聞いている。</p>